

確認日	意見者	<p style="text-align: center;">1 駐車場機能</p> <p>去る5月25日開催臨時町議会において、用地取得関係予算を提案しましたが、反対多数で否決され、用地拡張による駐車場機能整備は中止しました。以下については、議会提案時の町の考え方です。</p>	<p style="text-align: center;">2 公園施設</p>	<p style="text-align: center;">3 花の公園</p>	<p style="text-align: center;">その他意見</p>
4/24	1	<p>駐車場は四季彩まつり等で利用しており既存の駐車場だけでは足りないと思われるため、用地の取得が必要と考えます。</p> <p>駐車場として利用しない期間はイベント等で利用するとありますが、いつ・誰が・何をするかも決まっていないうちにやるといっても結局は何もしないで終わる可能性もあるので、用地の取得についてはどのくらいの面積が必要になるかをしっかり考え、一部取得なのか、全部取得なのかを決めるべきだと思います。</p> <p>【議会への説明と考え方】 取得面積は、駐車場として利用する場合の必要最大面積(360台)を基準にしています。その他の期間は、駐車場とイベント、スポーツなどに併用することを想定していました。</p>	<p>利用して気持ちの良い施設にきちんと管理してもらえれば良いと思います。</p> <p>ちなみに日の出公園は高齢者事業団が管理しているのですか？</p> <p>【説明と考え方】 施設は維持管理が重要ですが、厳しい財政事情に対応するため、こまめに行うことができないで来ました。今後は、この点を十分に反省し、適切に行う計画としています。なお、日の出公園の管理は、指定管理者である(株)上富良野振興公社が行っており、管理作業は振興公社が高齢者事業団の人材派遣を受けて実施しています。</p>	<p>現在の日の出公園のラベンダーでは観光客が何度も訪れたいと思うものになっていないと思います。上湧別のチューリップ、東藻琴の芝桜、静内の桜並木などは何度でも行って見たいと思いますが、やはり一面を花で埋め尽くすようにしなければダメだと思います。中富にもラベンダー園はあるわけですし、町内にも民間のラベンダー園があるのでそれらを上回る一番のものを作ってほしいと思います。</p> <p>【説明と考え方】 日の出公園は全体で19.2ha、ラベンダー園は4.2haありますが、このほかにラベンダー以外の花壇や冬季のスキー場コース、憩いのための緑地、イベントスペース、オートキャンプ場などを考慮すると、バランスとしては現在の面積が基本となります。また、春から秋口までの長期間、花の絶えない公園を目指しています。</p>	なし
4/27	2	なし	なし	なし	<p>ラベンダー公園という周辺ではファーム富田の知名度が高く、駐車場も満車となるほどに観光客が訪れています。日の出山がラベンダーと結びついている人はほとんどいない!!でも実際案内するとプロの写真家を含め、日の出山を絶賛します。日の出山(公園)がラベンダーのネーミングを表していません。!!例：「ラベンダーの丘」とか上富良野「丘のラベンダー」とネーミングを変えてほしい。</p> <p>【説明と考え方】 「日の出公園」及び「日の出公園ラベンダー園」は昭和58年以降観光情報やPR媒体に一貫して使用してきました。多くの旅行雑誌などにもこの名称が定着しており、今後ともこの名称を使用することがベストと考えています。</p>
4/30	3	<p>土地代はいくら予算しているのですか。農地の価格で買ったほうがよいと思う。もし価格が高いのであれば、この土地に限らず、近くに駐車場を買えるのでは。町としてこの土地にこだわる理由を知りたい。</p> <p>【議会への説明と考え方】 農地として利用する場合は、農地の価格として購入するのが当然ですが、日の出公園の拡張用地として、不動産土地鑑定評価を基準にして、土地収用法の適用により購入を予定していました。日の出公園拡張用地として駐車場機能を重点として取得することから、公園との隣接、特にエントランスゾーンとの隣接が条件になるため、用地は限定されていました。公園に隣接しない他の農地を取得する場合は、土地収用法案件とはならないため、農地転用手続きが必要になるなど、クリアすべき条件がかなり厳しくなります。なお、地権者との交渉を経て、5月の臨時議会で、取得費、整備工事費などの予算化を提案しましたが、否決されたため用地取得を中止する結果となっています。</p>	<p>町が日の出公園を管理するのではなく、第三セクター方式でやったほうが良いと思う。</p> <p>【説明と考え方】 平成17年度までは、オートキャンプ場のみを上富良野振興公社に委託していましたが、平成18年度からは指定管理者制度により、日の出公園全体に加えて、冬季間のスキー場リフト運営も含む全てを、第3セクターである株式会社上富良野振興公社経営に移行しています。</p>	なし	<p>年間何人の利用者がいて、観光にどれだけメリットのある公園なのか疑問に思う。観光客が駅に降りて感じることは、駅がきたない、何もなし。単独の公園としてではなく、駅からつながる方向にもって行かなければ、花を見る期間が短くて、富田ファームやフラワーランドの方に足が向きます。</p> <p>【説明と考え方】 年間の利用者数は、町外の利用者として、オートキャンプ場10,600人、四季彩祭り・ラベンダーシーズン30,000人があり、町民主体では北の大文字・雪祭り3,500人のほかに一般公園利用があります。年間を通じて、観光客の立ち寄りも多くありますが、その実態数は把握していません。JR等公共交通機関を利用する方は、近年は少数派になっており、多くはマイカーやバスツアー客となっています。しかし、町の玄関口としての役割を持つ上富良野駅については、美観が損なわれている部分もあり、JRに対して改善を要望いたします。ラベンダーは1ヶ月ほどの開花期間しかないため、他の花壇整備にも力を入れ、春から秋まで花の絶えない公園づくりを進める計画を立てています。</p>
5/13	4	なし	なし	なし	<p>元の田中山から日の出公園になるまで、和田松工門殿(当時の町長)と二人で苗植えからの始まりです。本当は、ラベンダー祭りでないといけないのです。紫のジュウタンのイメージが、ラベンダーは男性的な香りを持っている植物なのです。まあ、四季彩まつりでもいいでしょう。頑張ってください。イベント等には駐車場は必要で、用地を取得していいと思います。よろしく願います。</p> <p>【説明と考え方】 日の出山に初めてラベンダー園が造られたのは、昭和55年の15,000㎡であり、現在は43,000㎡に拡張されています。日の出公園がラベンダー祭り(第5回からラベンダー祭りに改称)会場となったのは、日の出公園設置の昭和58年の第6回からです。当時は駐車場収容力が不足したため、駅裏町営駐車場・ビート置場(現富原運動公園)・ビート置場(現富原谷口畜産の一部)の3箇所を臨時駐車場をつくり、バスでピストン輸送を行いました。昭和62年からは、更に日の出公園に隣接する借地により、臨時駐車場を増設して使用してきましたが、観光客が減少したため、近年は日の出公園臨時駐車場のみで対応してきました。しかし、平成20年6月に、借地してきた土地の利用が農地法に触れることが判明し、借地の解除と農地への復元が行われたため、急遽町が買い取り日の出公園用地として拡張する計画を持ったものです。理解と協力により土地をお貸しいただいた地権者には、大変なご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。</p>

5/14	5	今迄通り地権者の農地を買収して駐車場とする。 【議会への説明と考え方】 町としても、旧臨時駐車場の場所以外での拡張は考えていなかったため、今回の議会提案否決により、用地確保を中止しました。	スキーリフトを腰掛けリフトにして利用する。(1回100円) トラクター幌馬車でラベンダー畑を通りキャンプ場内をゆっくり廻ることができればいいと思う。(1回200円) 【説明と考え方】 スキーリフトの形式については、老朽化等施設更新時期に検討したいと考えています。トラクター幌馬車については、現状では傾斜や走行通路の関係、園内歩行者の安全管理の面から町直営又は指定管理者による遊覧事業は困難と考えていますが、これらをクリアできる企画があれば、営業を許可する方向で検討したいと思います。	北側ラベンダーを縮小してイベント会場西側とスキー場に、ラベンダー・ヒマワリ・コスモスなどを植えるといい。 【説明と考え方】 既存のラベンダーの再整備と新たな花壇整備を計画しており、ご意見を参考にさせていただきます。	イベントとして、(1)ラベンダーマラソン大会・歩こう会 (2)カラオケ大会 (3)大声大会 (4)花火大会 (5)女尻相撲大会 (6)仮想盆踊大会などを農業祭りに合わせて行ってはどうか。(7)希望者を募って金婚式を執り行ってはどうか。(8)子供カラオケ大会(中学生以下) 【説明と考え方】 用地拡張は中止しましたが、日の出公園での様々なイベント開催が考えられます。主催者に対しては、施設利用への便宜や運営支援を行っていきます。
5/15	6	日の出公園をこれからも重要な観光の拠点施設と位置づけているならば、相当規模の用地は必要と考える。白銀荘やパークゴルフ場の施設規模、機能面に対する指摘や不満の声が今でも一部あるので、将来に後悔しないために、原案の用地取得に賛成です。 【議会への説明と考え方】 駐車場の機能は、これまで整備してきた日の出公園の死活に関わるものと考えています。今まで、臨時駐車場に依存してきた過去を振り返り、大いに反省を深くしています。また、これまで利用してきた各種イベントの会場としての役割も、臨時駐車場あつてのことで、今まで使用してきた面積(旧臨時駐車場+地権者の好意で使用してきた部分)を基準に、拡張用地を考えて議会提案しました。	メンテナンスは当然行うべき。 【説明と考え方】 財政的な理由とはいえ、優先順位の考えに基づき、維持補修を先送りしてきたことを反省しています。	ラベンダー株植え替えは了。あわせて、傾斜地のため、大雨による土砂流出対策も必要。 【説明と考え方】 ラベンダー園の再生については、対象が植物であるため、5年程度の年次計画で実施します。なお、ラベンダー園は全面が傾斜地であるため、かねてから表土の流出対策や施肥管理が課題となっています。今後とも研究と改善を進めていきます。	スキーリフト事業の運営について：スキー人口の減少や、スポーツ、娯楽指向の変化などの影響によるものと思うが、日の出スキー場の利用が著しく少ない。特に平日の日中利用者ゼロの状態が多い。しかし、そのような時でもリフトは動いている。誠に不経済なので、平日の日中、夜間、土・日の運行について利用実態に即して見直しをし、また、運営形態も直営に戻すなど、抜本的に見直すべきと考える。 【説明と考え方】 現在日の出公園はリフト運営を含めて、指定管理者制度により株式会社上富良野振興公社に委託しています。今後とも指定管理者制度によるものとなりますが、営業内容についてはさらに点検を加えて改善を行います。
5/15	7	駐車場機能だけでなく、花の広場、大型遊具、ホップまつりなど。 【説明と考え方】 今回の拡張用地は、駐車場機能を主目的として、その他の様々な利活用に応えられるようフリースペースとして運用する予定でした。このため、建築物や構造物、花壇等の固定利用として整備する考えは持っていませんでした。	古くなれば、壊れる前にしっかりと修理をして延命を。 【説明と考え方】 ご意見のとおり、今後は美観維持だけでなく、延命にもウェイトを置いた維持管理を進めます。	観光客の皆さんが感動するような花を植えてください。 【説明と考え方】 日の出公園再生計画の柱の一つとして、花の公園づくりを位置づけています。レイアウトや花木選定、肥培管理など多くの課題がありますが、努力していきます。	ラベンダー結婚式、なぜやめたのですか。復活させてください。 【説明と考え方】 ラベンダー祭り・花と炎の四季彩祭りは実行委員会形式で開催されています。事業見直しの一環としてラベンダー結婚式が中止になったものと思われるが、ご意見は実行委員会に伝えます。
5/15	8	当然必要でしょう。 【説明と考え方】 (6)に同じ	古くなれば補修は必要でしょう。 【説明と考え方】 (6)(7)に同じ	もっと早く植え替えをするべきでしょう。 【説明と考え方】 (6)(7)と同じ	今さらなぜ、こんな質問をするのかわからない。観光・農業・自衛隊の街なので、当然必要でしょう。中途半端はやめて下さい。 【説明と考え方】 日の出公園の位置づけに、また整備計画に対して、ご理解をいただきありがとうございます。
5/18	9	ただ駐車場を造成するのではなく、植栽美をして緑が多い駐車場にしてほしいです。売店も仮設ではなく、景観を配慮した常設の売店の設定をし、利用者から賃料を徴収すれば。 【説明と考え方】 観光来園者がピークになる「花と炎の四季彩祭り」に際しては、全面(利用面積10,000㎡)を駐車場として利用することを想定しています。拡張用地のうち10,000㎡がフリースペースで、残りは緑地や樹木植栽、管理用通路とする予定でした。多目的利用を可能にするため、利用に際して必要なものは全て仮設での対応を考えました。なお、フリースペース面は、ジャミ(細かい砂利)敷き整備を予定しました。	ラベンダーシーズンに、リフトで山頂まで上がる様にリフトの更新を。 【説明と考え方】 現在のリフトは当面する更新の予定はありませんが、スキー場利用者からの要望もありますので、リフトの更新に際しては検討を行います。	他の町村では、乗り物で園内を見せているが通路等を整備しては。 【説明と考え方】 日の出公園は、起伏の多い丘の形状を持っており、この形状が景観や美観の要素となっている一方で、傾斜地であることによって園路の整備に大きな制約を生じています。町直営又は指定管理者による遊覧事業は困難と考えていますが、日の出公園で可能な園内遊覧手法が提案され、営業を希望される場合は対応を検討させていただきます。	オートキャンプ場・コテージの利用が多いと受け止めています。コテージを増設するには多額の投資が必要ですが、バンガローだと投資額も少なく、又、利用者も低額で利用出来年額増につながると思うので、バンガローの新設を、又、キャンプ場の広場に遊具等を設置し魅力あるキャンプ場にしてほしい。 【説明と考え方】 ご提案のバンガロー設置については、かねてから検討を加えていますが、今回の整備計画では日の出公園再生する要素を優先に据えており、続く整備計画での課題となります。
5/18	10	なし	・観光客は必ず展望台まで行きますので、階段途中のベンチを増やしたら良いと思います。 ・展望台のトイレは、内装に加えて改築してはどうでしょうか。 【説明と考え方】 山頂までの遠路は長い上りになっていますので、途中に休憩スペースを設けています。他の部分は傾斜地であるため、通常のベンチは設置できませんので、景観に支障を与えない何らかの工夫で腰掛け休憩ができる方法を検討します。 なお、展望台トイレは、昨年内外壁塗装を中心とした改修を既に実施しています。	だだっ広い草地が芝生、その上に家族やカップル、友人がくつろげる空間として、ベンチとテーブルのある場所がいくつかあればいいと思います。 【説明と考え方】 現在は、休憩舎や展望台周辺に休憩スペースを設けています。花壇や緑地の多くが傾斜地であること、また、これらが景観対象物である為、ベンチやテーブルを置くことの可否については、慎重に検討したいと思います。	なし

5/18	11	<p>駐車場の抜本的な見直しを図っては!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設駐車場を拡張する。そのためには思い切って噴水施設を取り払い、駐車場とする。(トイレが近く、外来者は便利) ・新しい駐車場用地は、奥1/3程度のスペースは緑地とし、芝生・花壇・樹木帯として利用する。 <p>【説明と考え方】</p> <p>エントランスゾーンとこの中の噴水及びせせらぎは公園の重要要素として設計されています。特にこの部分は休憩舎までの導線であるとともに、親子等町民来園者のくつろぎ空間となっていますので、現状を維持すべきと考えています。</p> <p>また、拡張用地部分は、全面をフリースペースとして供用することを基本にし、来客数の多いときには駐車場として利用する計画でした。</p>	<p>休憩舎の有効活用を!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラベンダーに関する資料館(博物館)として整備する。(ラベンダー発祥の地としてのプライドを示す。ファーム富田との差別化を図る。) ・普段はコーヒー、ソフトクリームなど軽喫茶として訪れる人をサービスする。(冬のスキー客等の休憩場所は別にプレハブの建物を用意する。) <p>【説明と考え方】</p> <p>かつて公園整備計画の途上で、ラベンダー博物館の構想がありましたが、整備費に加えて維持管理費などの問題から、立ち消えになっています。現在まで休憩舎は、写真展や工芸教室などにも利用されており、資料館のみの目的で転用することは難しい面があります。部分的な展示コーナーとしての対応は可能かと思いますが、設置主体や、維持管理の問題も生じますので課題とさせていただきます。</p> <p>また、軽喫茶につきましては、展望台2階スペースの活用も含めて検討された経緯がありますが、経営主体や厨房等設備の問題がネックとなっています。来園者サービス提供の一環として、指定管理者の上富良野振興公社等に喫茶や売店コーナー設置の検討を申し入れるほか、一般事業者から利用企画の提案があれば、対応を検討したいと考えます。</p>	<p>スキー場部分の花壇の抜本的な見直しを!!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年花の苗を更新し、植栽することを止めて、一面を芝桜に変える。 ・経費の面でも毎年かかる額は安いのではないかと。 ・冬のスキー場としての使用にも耐えられると思う。 <p>【説明と考え方】</p> <p>昭和63年に頂上遊歩道の東面全面に芝桜を植栽したことがあります。しかし、管理費用が多額(雑草除去、補植がすべて人手等)に上ること、花期が短いなどの理由から廃耕し、その後様々な試行を経て現在にいたっています。その途中では、ラベンダーを植えたことがあり、現在もこの一部が残っていますが、今後はこれも廃耕の方針を持っており、公園全体の花壇レイアウト見直しの中で検討を加えていきます。なお、かつての一面芝桜の一部が斜面東側に名残として残っており、春一番の花を咲かせています。</p>	<p>日の出公園は、町民の憩いの場所としての公園と位置づけたい。観光客のためにはなく、まず町民が家族で行ってみたいくなるような公園づくりが大切と思う。そのためには、例えば、毎年町民の手による植樹会とか、公園内の散策ウォーキング大会(植物の観察会)などを行い、町民皆が親しみのある公園にしていくことを考えたい。</p> <p>【説明と考え方】</p> <p>日の出公園は、現時点で19ヘクタール余りの供用面積を持つ総合公園であり、設置の昭和58年当初から観光施設機能を持って整備してきたため、町民以外の利用にも力点を置いています。</p> <p>このほかに、地区公園の島津公園がありますが、島津公園は池や緑地、公園樹に東屋、遊具などを備えており、町民主体の憩いとレジャーの場となっています。更に、10箇所の地区公園、住まいに近接した街区公園(児童公園)があり、遊具を備えた地域密着型として利用いただいています。</p> <p>日の出公園については、ふれあい花壇や町民植樹などの町民参加型の公園づくりも行ってきました。ご意見のとおり、様々な利活用を期待しておりますので、それを支える公園整備を進めてまいります。</p>
団体説明等での意見	集約	<p>既存の駐車場は狭いので、駐車場は必要だと思うがどうして1.4ヘクタール余りの面積が必要なのか。また、駐車場として必要な期間は一時的なもので、それ以外の利用が不明瞭である。</p> <p>【議会への説明と考え方】</p> <p>借地による臨時駐車場は8,800㎡でしたので、今回拡張する用地の14,000㎡は1.6倍になります。臨時駐車場の場合は、臨時的な使用であるため全面を使用できましたが、拡張用地では、駐車場のほかにイベント等のフリースペースとしての利用を考えているため、隣接地や周辺道路との間に緑地や植栽などの緩衝帯が必要になります。外周が約600mありますので、緩衝帯幅を5mとして単純に計算すると3,000㎡になります。また、収容台数も従来の300台に道路上にあふれる台数を加えて、360台の収容力を持たせることを考えました。また、現在、トラックやゴミ収集車が走る公園管理用道路がないため、やむを得ず公園内の歩道などを使っていますが、今回の拡張用地内に管理用道路も整備を予定しました。このような諸要素が加わり、大きな面積となりました。</p> <p>利用については、実際に土地の所有者の好意により使わせていただいた部分であり、特に冬季間は常設のクロスカントリーコースとして、夏の期間は、交流イベントなどのフリースペースとして利用を考えていました。</p>			